



5月27日(木)に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から届きましたので概要をお知らせします。

1 調査教科・国語、算数

2 出題内容

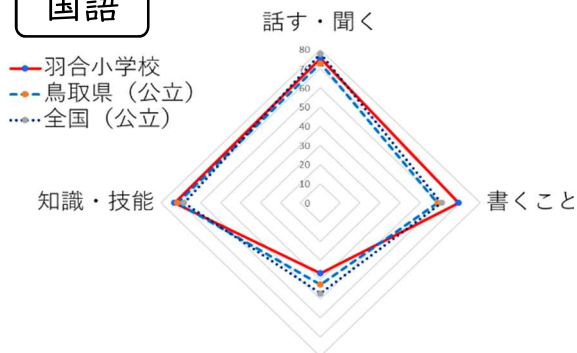
- (1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- (2) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

平均正答率

	国語	算数
羽合小学校	65	69
鳥取県	64	69
国	64.7	70.2
県との差	1.0	0
国との差	0.3	▲1.2

<学習指導要領の内容の平均正答率の主な状況>・(指導する内容領域別での状況)

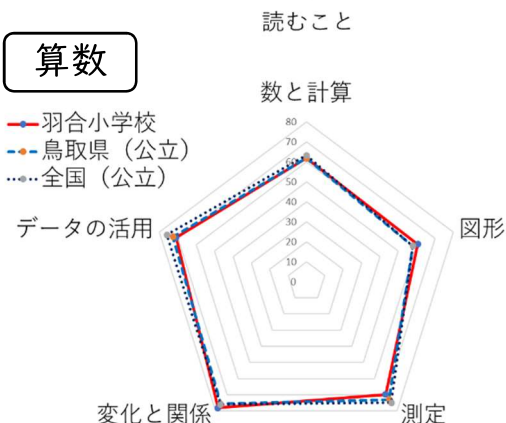
国語



○学習指導要領の内容の平均正答率では、「書くこと」が、県、全国平均を大きく上回っています。具体的には、自分の主張が明確に伝わるように、文書全体の構成や展開を考える問題が高ポイントでした。

○一方、「読むこと」が、県、全国平均を下回っています。具体的には、文章全体の構成をとらえ、内容の中心となる事柄を把握する問題の回答率が低かったです。

算数



○学習指導要領の内容の平均正答率では、「図形」領域と「変化と関係」領域が、県、全国平均を上回っています。具体的には、二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方や速さとも道のりをもとに時間を求める問題が高ポイントでした。

○一方、「測定」領域と「データの活用」領域では、県、全国平均を下回っています。具体的には、午後1時35分から50分後の時刻を書く問題やデータを表に分類する問題の回答率が低かったです。

<児童質問紙調査結果の主な状況>

- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」(県比較+7.7ポイント、全国比較+10.9ポイント)
- 「将来の夢や目標を持っていますか。」(県比較+8.9ポイント、全国比較+7.2ポイント)
- ▲「算数の勉強は好きですか。」(県比較-6.1ポイント、全国比較-6.5ポイント)
- ▲「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」(県比較-10.9ポイント、全国比較-5.2ポイント)

<今後の基本的な方針>

これまで、県や全国平均を下回る状況がありましたが、少しずつ結果が向上してきています。職員一同で、結果データをきめ細かに分析し、更なる授業改善と、より豊かな人間関係づくりに取り組んでいこうと思います。